

Machi Furari





宇都宮のまち

絶え間なく行き交う人と人。時代とともにめまぐるしく変化し続ける栃木県最大の都市、宇都宮。そしてここは私の生まれ育った場所。久しぶりに帰ってきた故郷は、なにも変わっていないようにも、すっかり変わってしまったようにも見えた。中心部には、古いものと新しいものが交わるように混在していて、いつでも刺激を与えてくれる。この道を最後に通ったのはいつだっけ。まちを流れる釜川沿いを歩いて、神社のそばにある甘味屋さんの暖簾をくぐった。昔と変わらないあんみつを口に運ぶと、なにも変わらない懐かしい味が嬉しくて、「ありがとう」と自然に言葉がでてきた。お店を出てからオリオン通りを抜けて、話題のお店が集まる通りへ歩いた。その途中で、大谷石造りの教会の向かいに、石蔵のレストランを見つけた。

栃木県 宇都宮市

「素敵なお店。今度行ってみよう」。それから、おいしいと評判のドーナツ屋さんを目指した。まるで外国のようなお店に飾ってある花が、あまりにかわいくて、教えてもらったお花屋さんへ行ってみることにした。そのまま帰りたいと思うような、見たことのない美しい花にあふれる店内。古い民家を改装した趣のある建物の中で見る花は、その美しさを一層際立たせているよう。どれにしようか悩む私に、「夏だからこんな花がいいかな」って店員さんがきれいな花束を作ってくれた。変わっていくものと変わらないもの。必要とされているものを必要としている人へ届けたい。その想いが、このまちを刻々と変化させている。知っているようで知らないまちの新しい出会いが、私にそう教えてくれた。



明治時代真岡木綿を染めるために、田川沿いに染職人が集まり、宮染めが誕生しました。中川染工場さんは、今でも注染という伝統的な技法を使い、浴衣や手ぬぐいを手作業で染め続けています。その特徴は、生地両面に全く同じ柄をつけるため裏表がないこと。そして、布の目を潰さずに染料を浸透させるため、通気性に優れているということ。型紙と糊を使い、裏表に一寸のずれもなく柄をつける板場職人や、染料を注ぎながら足下のペダルで浸透を調整し、美しい色をつける紺屋職人たちの優れた技術が、それを可能にしています。一日四十反もの生地を仕上げるのは、慎重性とスピードが欠かせない根気のいる複雑な作業です。そういった努力の積み重ねがあるからこそ、日本各地や海外からも、その高い技術を求める人の依頼が絶えないそうです。「柄も複雑になり、生地の種類も染料の色も時代によって様々。五十年続いている職人でさえ、目の前にあるものはいつも初めての作業なんです。」と話す中川さん。伝統技術と真剣に向き合う姿勢が、青空の下に干された染め物をより美しくさせていました。

株式会社 中川染工場

宇都宮市錦1-562 / Tel. 028-621-0571



二〇二〇年に開催される東京オリンピック。そのメインスタジアムをデザインした建築家の作品が見たくて、高根沢町を訪れた。宝積寺駅でレトロな電車を降りると、近代的なのどころか温かい建物が目の前に現れて。見慣れているはずの大谷石が別のものに見えるくらい、洗練された美しいデザインと調和していて心地がいい。駅前の通りを抜けて住宅街を歩いている途中、いいにおいのするパン屋さんに入った。店主さんが笑顔で「地元の素材を使った、新しい商品をまちのみんなで作っているの」と言って、米粉を使ったパンをお勧めしてくれた。他にはどんなおいしいものがあるのかな。そんなことを考えながら、遠くに広がる田園風景を眺めていたら、なんだかお腹が空いてきちゃった。近くにある地元の食材を使うビス

トロでお昼を食べてから、鬼怒川沿いの公園に向かった。今日はとびきり暑くて、水遊びをしている子供たちの姿が気持ち良さそう。思わず靴を脱いで、冷たい水の中に足を入れた。帰り道、教えてもらった「焼きちゃんぼん」が食べたくて、やさしいお姉さん、お母さんが切り盛りしている居酒屋さんに入った。ここでも新しい商品を試行錯誤しながら作っているんだって。一人じやなにもできないけれど、同じ目標に向かってみんなが力を合わせれば、それが大きな波になり、こんなに温かいまちをつくることができるんだ。勇気をだして一歩踏み出せば、きつと無限大の可能性が待っていて、ひとりひとりが挑戦すれば何かを動かす大きな力になっていく。次はあなたの番だって、そつとま

ちがささやいている気がした。



お部屋のインテリアに、贈り物に、たくさんの人たちに愛されるカンキチ工房さんが作る毛糸のコケ玉。色とりどりの毛糸を巻付けた土台から生える、かわいらしい多肉植物がファンを魅了し続けています。生花を扱う仕事に携わっているときに、枯れてしまう切り花よりも、枯れずに成長していくグリーンに興味を持ったことがきっかけで、寄せ植えやコケ玉を作り始めました。「自分にしかできないことを探していたら偶然出会ったんだよね」と話すカンキチさん。ただの商品として販売するのではなく、生き物の命を扱う責任感を大切に、手元を離れた後のメンテナンスも欠かさずに行っています。また、それを直接伝えるために、お店や様々な施設に出向きワークショップを開催したり、動物病院で働いていた経験から、里親探しなど動物の保護活動も行っているそう。「自分の手でどんなことができるか、何を伝えられるのかを大切にしています。それがお世話になった人たちへの恩返しになるんじゃないかな」カンキチさんの手から生まれるコケ玉は、たくさんの人に命の大切さを伝えていました。

カンキチ工房

塩谷郡高根沢町宝積寺1856-1 / Tel. 028-675-7800



高根沢の毛糸のコケ玉®

手の仕事

UTSUNOMIYA × TAKANEZAWA



人が集まる場所をつくること

「黒田」僕はこのまちで生まれ育ったので、ここにあるお店に刺激を受けて、お店をやりたいって思ったんですね。「齋藤」私は主人が経営する高齢者介護施設と地域の間に距離があることに疑問を感じていて。誰でも気軽に来れる楽しい場所にしたいと思って、施設の庭で出店者を集めたマルシェが始まったんです。「黒田」そういう場所って必要ですよ。ずっと音楽活動を続けてきたんですが、音楽と出会える場所が少なくなっちゃって。でも、発信する人たちの熱意はあるし、活動しているバンドの質も高い。だからまだ何かできるよなって想いから、TOKYO KAIDOという音楽イベントと、音楽と本を扱うコーヒースhopをオープンすることにしたんです。「齋藤」音楽って力がありますよね。イベントでライブをやっていると、ついつい足を止めてしまいます。癒されたり、元気が出たりするんですよ。「黒田」それを求めている人がいるからこそ、このお店を軸に自分のやりたいこと、まちに必要なことをどんどん展開していきたいんです。「齋藤」音楽と出会える場所に、美味しいコーヒーがあれば絶対に人は集まると思いますよ。

行動すること

「齋藤」高根沢町って可能性だらけだっと思うんです。温かい人のつながりがあるんですよ。だから、それが一つになったら、なんて素敵なことなんだろうって。そのためにはみんなが実践者になって、誰かに任せきりの傍観者にならないことが大切なんだって思います。「黒田」そうですね。ひとりひとりの行動力と人間力がないと、何も変わらないし共感してくれる人たちも集まってくれないですよ。最初に動き出す時はものすごく大変だけれど、誰かがやらないといけないし、続けていかないといけないんだって、イベントに来てくれたお客様やスタッフの嬉しそうな顔を見るとそう強く思います。「黒田」僕は物事の中心になって行動することが好きなので、先輩たちが与えてくれた刺激を、今度は自分が若い世代に与えていかなきゃって思っているんです。「齋藤」黒田さんは可能性の塊のような人ですよ。そういう芯のある人にみんな魅力を感じるんじゃないかな。「黒田」このまちにずっと根付いて暮らしてきたからわかることもたくさんあって。そういう物差しを大切に前に進んでいきたいですよ。

左 黒田 教行 「マツガミネコーヒービルディング」

栃木県宇都宮市松が峰2-8-3

Tel. 028-634-5202

Url. <http://www.bldg84.com>

右 齋藤 君世 「高齢者介護施設 宝夢」

栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺424-18

Tel. 028-666-5666

Url. <http://houn.jp>



Machi Tsuru



栃木県内中心市街地のイベント情報

2016年10月 — 11月



宇都宮市 / ミヤ・ジャズイン 2016

北関東最大のジャズフェスティバル。プロ・アマチュアバンドが、各会場で最高のパフォーマンスを繰り広げます。

開催日 / 11月5日[土] — 11月6日[日] 11:00 -

会場 / 宇都宮市中心市街地

お問い合わせ / ミヤ・ジャズ推進協議会 Tel.028-637-3131



高根沢町 / 駅前のマーケットVol.5

TAKANEZAWA ROCKSIDE MARKET VOL.2

高根沢新グルメのほか、飲食・雑貨・ワークショップ等を行う約40店が駅前の広場に集まるマーケットをお楽しみください。

開催日 / 10月23日[日] 10:00-16:00 会場 / 宝積寺駅東口ちよつ蔵広場

お問い合わせ / 高根沢町夢咲くまちづくり推進課 Tel.028-675-8113

今回のモデル

真下 温さん

生まれ育った街をもう一度ゆっくり歩いてみると、田舎すぎず都会すぎないこの街にはっと落ち着きました。懐かしい景色、通ったことのない道、ローカルな食材をつかった料理。そんな自分だけのお気に入りの発見できました。

撮影協力

宇都宮市

甘党の店 三芳 にごくさ
八幡山公園 二荒山神社
中川染工場 / おしやらく
マツガミネコーヒービルチング
dough-doughnuts

高根沢町

カンキチ工房 / パン工房 1u
ふれあい牧場 / 食・酒処 こずち
鬼怒川グリーンパーク
高齢者介護施設 宝夢
宝積寺駅
Bistro Plan de Plat



日光市 / 今市屋台まつり

伝統ある彫刻屋台、花屋台合わせて10台が今市市街の大通りに繰り出し、各自治会がお囃子の競演をします。

開催日 / 10月16日[日] 13:00-19:00
会場 / JR今市駅前通り
お問い合わせ / 今市納涼祭実行委員会 Tel.0288-30-1171



鹿沼市 / 鹿沼秋まつり

日光東照宮の彫刻技術が受け継がれた屋台が、市街地を巡行する迫力ある姿や、お囃子の競演「ぶっつけ」をお楽しみください。

開催日 / 10月8日[土]―10月9日[日] 10:00-21:00
会場 / 今宮神社周辺鹿沼市街地
お問い合わせ / 鹿沼市観光交流課 Tel.0289-63-2303



栃木市 / とちぎ秋まつり

見事な彫刻や金糸・銀糸の刺繍で豪華に飾られた江戸型人形山車が、蔵の街を練り歩く栃木市最大のお祭りです。

開催日 / 11月11日[金] 10:00-16:00
11月12日[土]・13日[日] 9:00-21:00 会場 / とちぎ蔵の街大通り
お問い合わせ / 栃木市観光振興課 Tel.0282-21-2374



下野市 / 第19回 天平の芋煮会

直径2.5mの大鍋で、地元の野菜や特産の「かんびょう」などを使い、約3,000食分の芋汁を作る下野秋の名物行事です。

開催日 / 11月6日[日]
会場 / 天平の丘公園
お問い合わせ / (一社)下野観光協会 Tel.0285-39-6900



足利市 / のはほん列車たび 特別着付けプログラム in あしかが

事前予約制で、レンタル着物・着付け・特典がセットになっています。着物を着て足利の歴史ある街並みをお楽しみください。

開催日 / 10月29日[土]―10月30日[日]
会場 / 足利まちなか遊学館 (着付け場所)
お問い合わせ / 足利市観光振興課 Tel.0284-20-2165



佐野市 / FANTASTIC ILLUMINATION in SANO 2016

宝石箱のようにきらびやかなイルミネーションが佐野駅前を彩ります。点灯式では楽しいイベントも企画しています。

開催日 / 11月下旬―2月下旬・点灯式 11月下旬 17:00-18:30 [予定]
会場 / 佐野駅前
お問い合わせ / 佐野駅前交流プラザ ばるぼーと Tel.0283-27-0005



矢板市 / やいた花火大会

約1万発の花火が秋の澄んだ夜空を彩ります。イベントも同時開催し、模擬店も多数出店。お気軽にお越しください。

開催日 / 10月15日[土] 第1部14:30 第2部17:00 第3部19:00
会場 / 矢板市文化会館周辺
お問い合わせ / やいた花火大会2016実行委員会 Tel.0287-43-1755



那須塩原市 / 那須野巻狩まつり

かつて源頼朝が那須野ヶ原一帯で行った大きな巻狩。まつりでは巻狩太鼓、巻狩踊り、巻狩鍋などで当時を再現します。

期間 / 10月22日[土] 9:30-15:00 10月23日[日] 9:00-15:00
会場 / JR那須塩原駅西口駅前広場[22日] 那珂川河畔運動公園[23日]
お問い合わせ / 那須野巻狩まつり実行委員会事務局 Tel.0287-62-7154



さくら市 / きつねの嫁入り

ふるさとの民話をもとに、400年の歴史ある喜連川公方の城下町を、狐の化粧をほどこした人々が風情のある着物姿で練り歩きます。

開催日 / 10月23日[日] 11:00-16:00[予定]
会場 / さくら市役所喜連川支所前大通り
お問い合わせ / さくら市商工観光課 Tel.028-686-6627



真岡市 / SLフェスタ

C11・C12・9600形・D51・駅舎・キューロク館の6基のSLが大集合します。同時に様々なイベントも開催され見所満載です。

開催日 / 11月27日[日] 10:00-16:00
会場 / 真岡鐵道真岡駅東口
お問い合わせ / 真岡鐵道株式会社 Tel.0285-84-2911



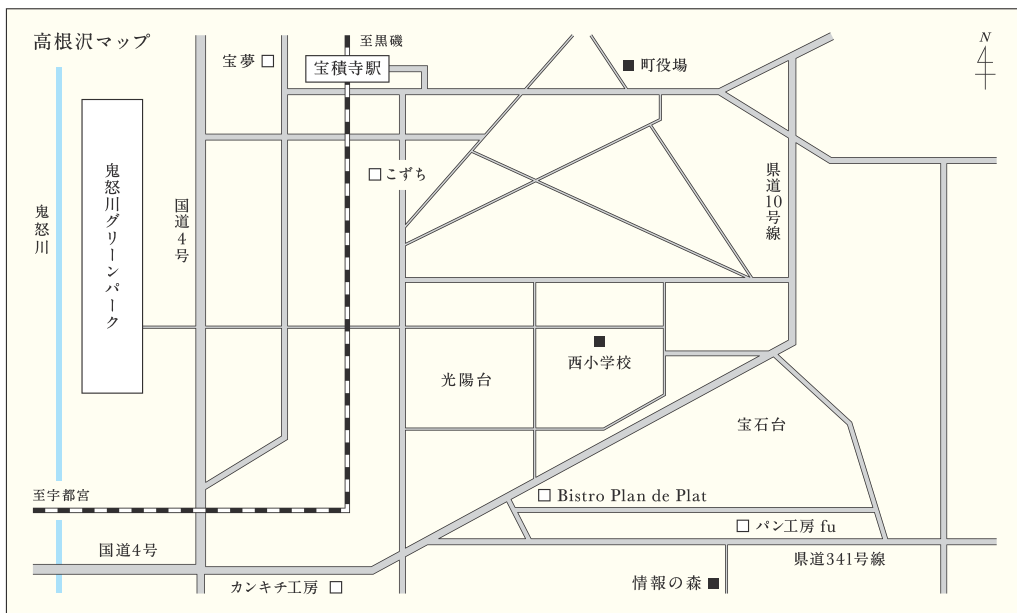
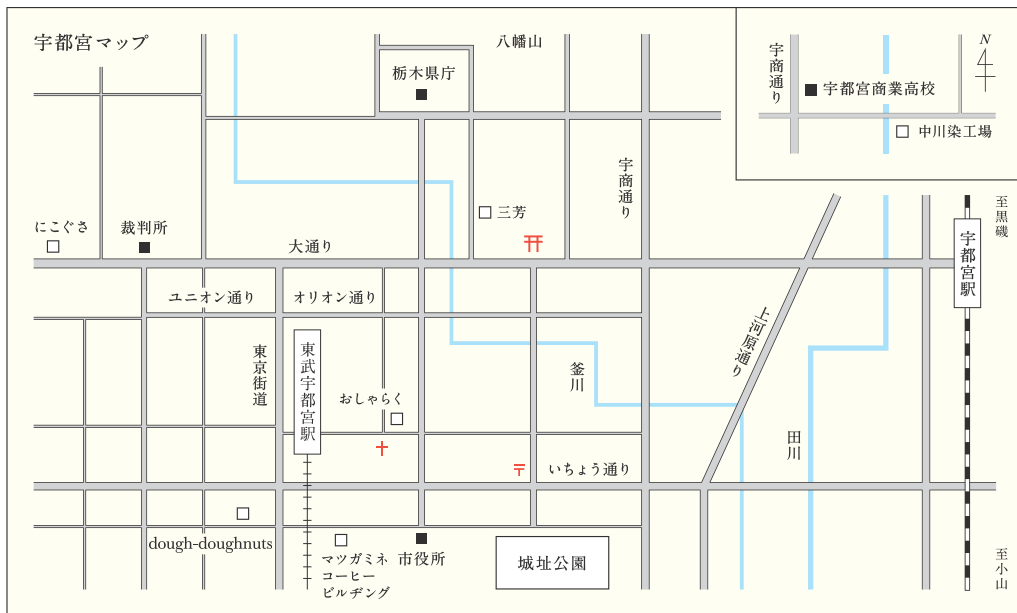
小山市 / おやま開運まつり・うどんまつり

子ども甲冑武者によるパレードや小山評定の再現劇。なめらかでモチモチとした食感の「小山うどん」をお楽しみください。

開催日 / 10月15日[土] うどんまつり・16日[日] 開運まつり・うどんまつり
会場 / 小山御殿広場
お問い合わせ / 開運・うどんまつり実行委員会 Tel.0285-22-9273

まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふらり』は、多くの人に栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、「まちなか」の魅力を紹介してきました。今回でまちふらりは最終号。ご愛読くださいましたみなさまに感謝いたします。4年間ありがとうございました。



発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課）

Tel. 028-623-2464 / Fax. 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内16市町によって構成される協議会で、
中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。